

寄せられた意見とそれに対する市の考え方

平成30年4月10日から5月10日までの30日間、市民の皆さんから「守谷市地域公共交通網形成計画（案）」に対する意見を募集しました。

この期間、市民の皆さんから寄せられたご意見及びご意見に対する当市の考え方は次のとおりです。

◎守谷市地域公共交通網形成計画（案）における施策案について

意見の要旨	件数	意見に対する市の考え
<p>①市内路線バス，モコバス，タクシー，守谷駅西口施設環境，派遣サービスに関する施策の具体的な提案事項を検討してほしい。</p> <p>（市内路線バス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各バス停に電光掲示板を設置。 ・バス停の簡易屋根の設置。バス停兼駐輪場設置。 ・毎1年置きに調査して，利用者が少ないバス停の廃止，利用者が多いバス停付近のバス停増設。 ・守谷駅周辺に循環バスの新設。 <p>（モコバス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区毎にコミュニティバスを走らせる。 ・10年毎に新車導入する。 ・バス内に液晶画面設置。 ・鉄道（TX，常総線）とモコバス利用者へ特典を付ける。 ・障がい者無料を廃止し，小児運賃と同額にする。 ・モコバス定期券の販売。 ・土日祝日ダイヤ，年末年始等は特別ダイヤにする。 ・19時以降の運行を縮小する。 ・Cルートの発着を守谷駅にする。 ・バス停にタッチ可能な路線案内用の電子掲示板を設置。 ・運転士が守谷営業所で休憩できるようなダイヤに見直す。 <p>（タクシー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンでタクシーを呼べるアプリを導入する。 ・24時間営業事業者を増やす。 	3	<p>◇原案どおりとします。</p> <p>ご意見のとおり，本計画に沿って，公共交通の利便性向上に向けた施策を検討して参ります。</p> <p>なお，具体的な施策につきましては，守谷市地域公共交通網形成計画を策定後，「守谷市地域公共交通活性化協議会」において協議の上，決定させていただく流れとなっております。ご提案いただきました内容は，再編における協議の中で参考とさせていただきます。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・観光タクシー，陣痛タクシー，キッズタクシー，ジャンボタクシーの創設。 ・研修制度を設けて，輸送品質や接客マナーを向上させる。 （守谷駅西口環境） ・バス，タクシー，一般車の乗入れを分ける。 ・バス，タクシー乗り場に守谷駅デザインに合ったお洒落な防護柵を設置する。 ・バス停屋根が狭いため，屋根を増やす，または広げる。 ・病院行の病院専用送迎車案内板設置，または，巨大ディスプレイの掲示板設置。 ・ルートに合わせたバス乗り場の変更。 （新サービスの展開） ・守谷市在住者限定派遣サービスとして，市の審査を通過した2種免許保有者が，事前予約利用者の自家用車を代行運転する。 <p>②守谷市の人口増加傾向を鑑み，公共交通網の強化と駅前交通アクセスの改善が望まれる。朝晩の通勤・通学時間帯に送迎の自家用車で駅前が混雑する状況は改善されるべきである。それは自家用車の規制ではなく，路線バス・モコバスの利便性を高めることで実現されるべきである。</p> <p>③方面別の分散需要を集約し，バス1本当たりの効率向上を図ること。バス利用のハードルを下げること。</p> <p>このため，「短期的対応としてのバスルートの見直し，運賃制度の改定」，「長期的対応としてまちづくりによる対応」の2段階対応が必要と考える。</p> （路線バス） ・守谷駅西口～新守谷駅線の延伸，運行時間拡大 ・美園循環線の延長，運行時間拡大 ・閑散期の大幅削減の廃止 （モコバス）	
--	--

<ul style="list-style-type: none"> ・西三，市北西部のバスルート整理 ・Aルートのバス停及びアクセス路新設 ・Cルートの見直し ・Bルートの立ち寄りバス停追加 ・まちなか循環線について ・運賃制度の改定 ・バス待ち環境の向上 (まちづくりによる対応) ・西口大柏線の早期整備 ・都市軸道路利根川架橋区間，供平板戸井線の早期整備 ・守谷駅前の魅力向上 ・北守谷地域の買い物事情改善による自動車運転免許返納促進 ・バス停の上屋設置 ・バスロケーションシステム (交通マナー悪化によるバス遅延要因の撲滅) ・守谷駅ロータリーの改善 ・道路面への対策 		
---	--	--

◎守谷市地域公共交通網形成計画（案）について

意見の要旨	件数	意見に対する市の考え
<p>デマンド方式による新しい計画に大いに期待している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P 4 5 アンケート内容について ・ P 7 2 バス等利用者数の目標値が低い。 	1	<p>◇原案どおりとします。</p> <p>P 4 5 アンケートの対象は，無作為抽出した市民 1,000 名です。バス運行ルートの満足度を尋ねる設問は，バス利用者を対象としたものですが，P 4 2 記載のように，バスを利用しない方へ，利用しない理由を問う質問を設けさせていただきました。</p> <p>これらを総合的に考慮し，バスルートの見直しを図って参ります。</p> <p>◇原案どおりとします。</p> <p>本計画におけるバス等利用者数の目標値については，モコバスをゼロベースで見直すことを考慮した目標値となっております。現在のモコバスの 1 日当たりの平均利用者数 467 人を差し引き，小さな交通の導入及び，モコバスの再編を想定した上での利用者となっております。</p>

<p>・ P 7 3 バスを便利に利用できると感じている目標値が低い。</p> <p>・ P 7 5 今後の取組について、小さな交通の導入に期待したい。</p>	<p>す。</p> <p>◇原案どおりとします。</p> <p>バスを便利に利用できると感じている割合は、バスを利用しない市民の方も対象としているアンケートでの割合となっております。現状でバスを利用している方が少ないこともあり、満足度についても低い結果が出ております。</p> <p>目標値については、過去の割合を根拠として算定しているため、本目標値となりますが、バス利用者の増加を図るとともに、バスを便利に利用できると感じている割合を高める施策を検討して参ります。</p> <p>◇原案どおりとします。</p> <p>地域と連携し、利用者に即した交通となるよう検討させていただきます。</p>
--	---